

広報
第25号

上野東部だより

2013年8月1日
発行
東部地域住民自治協議会
総務広報部会
伊賀市緑ヶ丘本町1681-8
上野東部地区市民センター内
TEL・FAX 24-3999



7月2日(火)は、上野東小学校の授業参観でした。この日は、親子で行う学年行事も兼ねていたため、多くの保護者が来していました。

2年生は体育館で、親子ドッジビーをしていました。子どもたちが各クラス12人ずつ程度にわかれ、保護者も参加の対抗戦。ドッジビーは、ドッジボール競技に似ていますが、やわらかいフリスビーを使うため、コントロールが難しいようでしたが、親も子も楽しそうで拍手喝采でした。

続いて行われたアジャタは、玉入れに似た競技ですが、制限時間は無く、全ての玉を入れ終えた後に、かご持ちから投げられた金色の玉を一番先に入れたチームが勝利となります。初めは優勢だったチームでも、最後まで目が離せない大盛りあがりでした。

参加した保護者の一人が「子どもたちといつしょに

アジャタ遊び、
もくねんさんで
鉛筆づくり



上野東小2・3年
学年行事

久しぶりに運動が出来て楽しかったです。」と汗を流した子どもたちの笑顔を見ながら話される姿が、大変印象的でした。

また、3年生では、「もくねんさん(木の粘土の工作セット)」使って、いろいろな形の鉛筆を作っていました。子どもたちがうさぎや犬など作りたい形を描いて、その形になるように親子で楽しそうに作っていました。世界に一つだけの自分の鉛筆が出来上がった時は、とても喜んでいました。

〈取材：古谷尚子〉

役員構成

役職・役員名(所属団体組織名)

会長	自治会	今高一三	理事	自治会	堂山敏夫	理事	環境美化代表	中尾節子
副会長	健康の駅長会	服部明	//	(北平野)	中井猛	//	スポーツ推進委員代表	北田稔
//	小中学校長代表	田中伸一	//	(城北)	南徹雄	//	健康の駅長会	湯矢澄子
//	東部老人クラブ会長	宮田淳	//	(上野田端町)	白井三十二	//	健康福祉部会長	
会計	自治会長OB	佐藤包治	//	(緑ヶ丘中町)	谷口博美	//	自治会長OB	杉本秀行
理事	自治会	平井征士	//	(緑ヶ丘本町)	秋葉茂能	//	教育文化スポーツ部会長	半田政次
//	(上野車坂町)		//	(緑ヶ丘南町1)	松裏伊三男	//	民生委員	早瀬福子
//	(上野農人町)	吉岡登	//	(緑ヶ丘南町2)	池澤拓雄	//	環境保全部会長	平井つゆ子
//	自治会(上野伊予町)	阿波弘康	//	(服部団地)	辻井眞理子	//	民生委員OB	米井俊祐
//	産業振興まちづくり部会長		//			監事	人権啓発部会長	福森博
//	(上野寺町)	山口義美	//			//	元公民館長	
//	(上野玄蕃町)	岡本章	//			//	自治会長OB	房川忠郎
//	(上野赤坂町)	竹島英喜	//	消防団	森本美奈子	参与	前公民館長	田山干城
			//	中部北分団長	三谷卓也	事務局長	公民館長	小西也人

実行委員会(部会)活動、ぜひご参加を!

総務広報部会

年3回発行し、親しんで読んでいただける広報誌となるよう部会員一同努力します。情報提供をお願いいたします。



健康福祉部会

地域のみなさんと共に楽しい健康づくりに取り組むと共に、高齢者が安心して住める環境づくりを考えていきたいと思っています。

- 地域(高齢者)見守り支援フォーラム(実施済み)
- 体力測定(9/29)
- 健康ウォーキング(10/20)
- 平岡講師による健康講話・実技(11月)



環境保全部会

みんなでやれば本当に楽しい! 環境保全活動。矢谷川の清掃活動に取り組んで8年。わいわい言いながら多少の雨ならいとわず、人が集まれば決行してしまうエネルギーに部員は背中を押されながら今年も取り組みます。

- クリーンウォーク(年6回)
- 環境講座2回(布ぞうり作り、モクモク手づくりファーム環境講話・見学)
- 先進地視察 環境保全部だよりの発行



教育文化スポーツ部会

- ほたる鑑賞会(実施済み)
- 文化講演会
(講師に「ふつくりあ施設長奥西氏」を招く(8/21))
- 市内文化財・史跡見学(10月)
- カローリング・吹き矢・ユニカール研修
- スタンプラリー&ネイチャークラフト(11/3)
- スポーツ大会(3/29、30)



防災防犯交通安全部会

「安全」「安心」で快適なまちづくりのために、みなさんと一緒に当部会の活動を進めていきましょう。特に、今後30年間でM8程度の東南海地震が発生する確率は88%と言われています。備えを万全にしましょう。

- 青色回転灯車パトロール
- タウンウォッチ
- 防犯講習会(8/10)
- 防災訓練(10/27)
- 交通安全講習会(11/30)
- 先進地視察



人権啓発部会

『災害と人権』災害時に起くる人権に関する問題についても日頃からの「備え」が必要です。私たちの周りには、災害時に特別な支援を必要とする人たち(災害時要援護者)がいます。いざという時に、どのような人権侵害が起きてしまうのか考えておく必要があります。日頃から身の回りの人権について関心を持ちましょう。

- 人権地区懇談会
- 人権講演会
- 人権落語講演会
- 観察研修



産業振興まちづくり部会

- 伊賀・大和街道「灯りの芭蕉路Ⅶ」事業協賛
新鮮市(10/27)
- 観察研修



わが町 上野玄蕃町

温かみのある町、輪を大切に



岡本章自治会長



たずまいは、昔の面影をとどめています。最近観光客が時々訪れています。

玄蕃町は、広小路通りの角から北に伸び、途中に伊賀鉄道、県道163号線が横切っている細長い町です。

また、玄蕃町の地蔵さんは、古く以前は町内2個所で祀られていましたが、都市計画のあおりで、建物が除去されることになり、踏切そばの現在地に3体合祀されています。

町内行事としては、老人会はカラオケを楽しんだり、話そう会と題して、月一回昼食会をして、集議所が憩いの場となります。敬老の日には、自治会・老人会合同で親睦を深めるため懇親会を実施しています。

自治会は、温かみのある町、輪を大切にこれからも努めていきたいと思います。

玄蕃町という町名、実は人の名前から付けられたと、言い伝えられています。

また、歴史ある町で、寛永時代の藤堂藩・藤堂新七郎の武家屋敷があり、若き日の松尾芭蕉は藤堂新七郎に仕え、その時文学的な基礎を学び身につけ、生涯俳諧の道へ進むことになったと言われています。藤堂新七郎の屋敷に桜の木があり、芭蕉はそこでの句

「さまざまのこと思ひ出す桜かな」

と詠っています。この句に由来して、この屋敷は現在「さまざま園」と呼ばれ、芭蕉遺跡になっています。今は個人所有のため見学はできません。



安心感をもって園生活を送る

伊賀市立 桃青の丘幼稚園



中森園長

笑みがこぼれました。

クラス数は3歳児2クラス、4歳児3クラス、5歳児3クラスで、園児は伊賀市全域から通っているそうです。

園舎は大変大きく近代的で、各教室にはきれいに整頓された子どもたちのロッカーや椅子、七夕が近いということもあり、色とりどりの笹の飾りも鮮やかに並んでいました。園庭は広く、遊具も充実、野菜作りや生き物を育てる環境も整っており、園児たちにとって非常に快適であることがうかがえました。また、私たちの姿を見かけた子どもたちが手をつないで走ってきて、自ら「こんなちは」と挨拶をしてくれたことには大変感心しました。

同幼稚園は保護者同士の繋がりも深く、「小さなことでも気軽に話し合える関係づくり」に努めているそうで、その一環として保護者のサークル活動が精力的に行われています。内容は、ヨガ、押し花、お料理など多岐にわたり、中でも親子で遊ぶサークル「おーるきっず」には私自身も参加したくなりました。

また、取材前日に行われた子育て講演（高田短期大学 橋本景子先生）にも100名以上の保護者が出席し、「泣けてくるほど良かった」「今ちょうどこのような話を聞いたかった」「もっと聞きたかった」などの感想が寄せられたようで、このことからも子育てに対する保護者の方々の熱心な姿がうかがえます。

園長の中森先生に教育理念を伺ったところ、「子どもたちは安心感をもって園生活を過ごし、幼稚園で遊ぶことが楽しいと思ってもらえることを大事に考えています。幼稚園は小学校の先取り学習をするところではなく、心情を養い、体の動き、生活習慣を学び、更に色々なことを試してみようとするところであり、子どもも親も共に学び育つ場所です」とおっしゃっていました。

今回の取材を通して、桃青の丘幼稚園は、子どもたち、家庭、園との一体感が感じられる幼稚園であると思いました。

（取材：佐山雅代、田山干城）



上野商業高校の跡地利用について 再度の要望書を市長と市議会議長宛に 提出しました。



伊賀市長　岡本　栄様

平成25年6月3日

東部地域住民自治協議会
会長 今高一三

上野商業高校跡の有効活用について要望書

具体的な内容

閉校になった県立上野商業高校(以下、上野商業)の建物及び土地を県から市が買い取り、東部地区市民センターとして活用及び教育・文化・スポーツの発信基地として市民に開放されたコミュニティ施設にすること、そして災害時の市指定避難場所として利用していくことを求めます。

具体的には、子育て支援サークル、読み聞かせ教室などの子どもを育む場、生涯学習などの教育の場、芸術作品の発表といった文化交流会場、スポーツ少年団や各種スポーツでの利用など多彩な利用することができます。

いずれにせよ、上野商業高校跡を利用し、市民に開かれた施設をつくることが東部地域発展の一つの重要な課題であると同時に伊賀市の将来を見据えたとき、なによりも子どもの心身の健全な育成と、現在、社会問題になっている高齢者が憩える施設等の充足を考えなくてはならないものです。

すでに、2月に市長及び知事宛に要望書を提出していましたが、その後県は売却の方向で予算化もされていて、このままでは民間に売却の恐れが十分考えられるところから、市議会が開催される直前でもあり、急遽6月3日、市長と議長に対して今高会長、白井理事(緑東自治会長)ら5名が下記の要望書を提出しました。※議長には「市長」宛を「議長」宛として提出しました。

応対した、空森議長と中谷副議長は、「市長がやると言ってくれれば大いに後押しする」ということでした。

一方、



市長に代わって応対した辻上浩司副市長は、県から伊賀市に来るにあたって、一番の課題は商業高校の跡地問題と認識していて「伊賀市の要望をよく聞いてどうするかを決めるように。拙速はダメと(県当局に)強くってきた」ので、スグに売却にすることは無いだろうと楽観的でしたが……。私たちの要望が市としてどのようになるかは現時点では未定です。(文責・杉本秀行)



所在地	管理者	所在地	管理者	所在地	管理者
上野車坂町874	車坂町集議所	上野寺町1165	上行寺	上野農人町414-5	杉本 秀行
上野車坂町810-1	伊藤 英夫	上野寺町1166-2	稻田 英世	上野農人町421	荒木 玄文
上野車坂町809	谷口 坦	上野玄蕃町192-1	福山 英二	上野農人町433	島津 忠幸
上野車坂町734-3	倉阪 久子	上野玄蕃町237	川崎 信哉	上野農人町439-1	早瀬 晴信
上野車坂町715	西口 保次	上野伊予町1103	阿波 弘康	上野農人町511	淵田 勝彦
上野車坂町706	福田シマ子	上野伊予町1105	徳山 銳太郎	上野農人町548-1	小西 英雄
上野車坂町632	小田 輝久	上野伊予町1065-2	横尾 芳郎	上野農人町549-5	城下 征生
上野車坂町644	町野 剛	上野赤坂町277	入江 歳子	緑ヶ丘東町1009	松本 志一
上野車坂町697	佐賀 薫	上野赤坂町268	田山 千城	西明寺2832	(合)尾崎タイヤ商会
上野車坂町672	柳島 正一	上野赤坂町283	竹島 英喜	緑ヶ丘本町	蔵本 康弘
上野車坂町909	岡嶋 伸治	上野赤坂町	三田清横	緑ヶ丘西町2612	平和酒造(株)
上野寺町1152	念仏寺(豊岡)	上野農人町398	(宗)妙華寺(中森博道)	緑ヶ丘南町4020-5	上田 耕作
上野寺町1157	万福寺(坂 信之)	上野農人町414-2	木戸かよ子	緑ヶ丘南町3948-1	谷本 秀樹

編集後記

11人の部会員でスタートしました。今夏は空梅雨気味で、梅雨らしくないなあと思っていたら、例年には早い梅雨明け宣言。この「25号」がご家庭に届く頃、参議院選挙が終わり、子どもたちは夏休みの真っ最中。親の都合で考えるのではなく、子どもにとって幸せとは何かを考えられる家庭であり、地域でありたいと願うものです。

(田山千城)